

景気見通し調査(平成28年6月期)

調査結果

福井商工会議所
中小企業総合支援センター

【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

調査時期 平成28年6月13日(月)～6月17日(金)
調査方法 F A Xによる送付、回収
調査対象 福井商工会議所 会員小規模事業所より 360件を抽出
(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所
卸売業・小売業、サービス・その他・・・従業員5人以下の事業所)
回答数 180件 (回収率50.0%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	14	10	11	9	16	60(34.7%)
6～10名以内	15	14	6	4	6	45(26.0%)
11名以上	20	14	10	6	18	68(39.3%)
計	49(28.3%)	38(22.0%)	27(15.6%)	19(11.0%)	40(23.1%)	173

※業種未回答7件除く

DI値とは...

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

2期連続の悪化

～売上高が下がり、採算の悪化が続く～

■業界の景況

- ・2期連続の悪化
- ・建設業が大幅な悪化
- ・建設業のみ改善を見込む

■仕入価格

- ・3期連続の改善から一転、悪化
- ・卸売業のみ改善
- ・卸売・サービス業で改善の見込み

■自社の景況

- ・2期連続の悪化
- ・卸売業を除く業種で悪化
- ・建設業を除く業種で悪化の見込み

■販売価格

- ・わずかながら2期連続の悪化
- ・製造業のみ改善
- ・製造・小売業で悪化の見込み

■売上高

- ・2期連続の悪化
- ・小売・サービス業で大幅な悪化
- ・小売・サービス業を除く業種で悪化の見込み

■採算(収支)

- ・2期連続の悪化
- ・卸売業のみ改善
- ・建設・卸売業で改善の見込み

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査との比較					
		業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、 原材料等)	販売価格 (受注単価)	採算 (収支)
全業種		↓	↓	↓	↓	↓	↓
製造業	+ 新商品の拡販	↓	↓	↑	↓	↑	↓
	+ 県内受注が増えている	↓	↓	↑	↓	↑	↓
	- 受注減	↓	↓	↑	↓	↑	↓
	- 同業他社との競争	↓	↓	↑	↓	↑	↓
建設業	+ 大型物件の受注	↓	↓	↑	↓	↓	↓
	+ 受注物件が多く利益率も高い	↓	↓	↑	↓	↓	↓
	- 公共工事の発注が少ない	↓	↓	↑	↓	↓	↓
	- 受注工事が少ない	↓	↓	↑	↓	↓	↓
卸売業	+ コンスタントな受注あり	↑	↑	↑	↑	↓	↑
	+ 大型物件がある	↑	↑	↑	↑	↓	↑
	- 売上不振	↑	↑	↑	↑	↓	↑
	- 仕入価格の高騰	↑	↑	↑	↑	↓	↑
小売業	+ 自社ブランド増加	↑	↓	↓	↓	↓	↓
	+ イベント開催により売上増加	↑	↓	↓	↓	↓	↓
	- 官公庁の費用削減	↑	↓	↓	↓	↓	↓
	- 安価販売	↑	↓	↓	↓	↓	↓
サービス業	+ 前期からの受注がある	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	+ 団体の予約が入っている	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	- 見通しがない	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	- 販売量が少ない	↓	↓	↓	↓	↓	↓

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

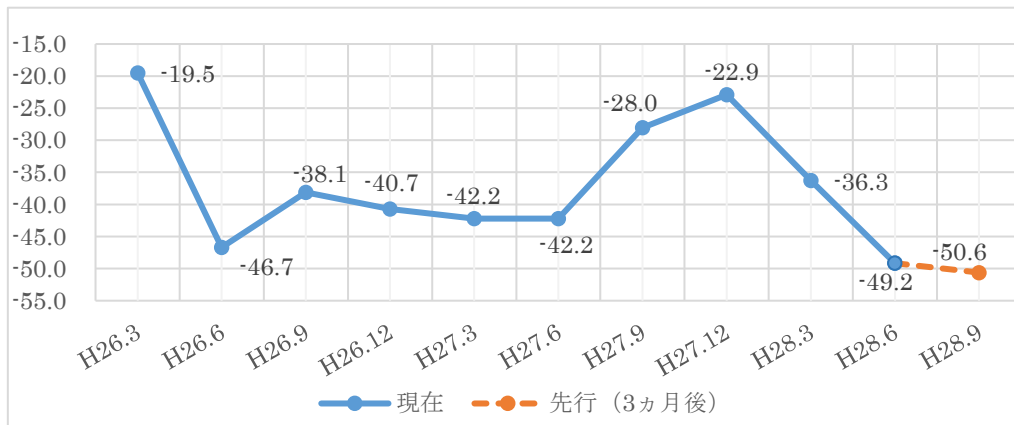
■調査結果概要(調査項目)

	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
業界の景況	-49.2	-12.9	-50.6	-1.4
製造業	-44.0	-16.0	-54.2	-10.2
建設業	-52.4	-30.2	-35.9	16.5
卸売業	-77.8	1.5	-82.6	-4.8
小売業	-47.4	0.3	-53.3	-5.9
サービス業	-34.1	-9.8	-40.5	-6.4
自社の景況	-31.0	-8.9	-34.8	-3.8
製造業	-33.3	-13.3	-45.5	-12.2
建設業	-27.5	-27.5	-12.8	14.7
卸売業	-55.6	16.9	-56.5	-0.9
小売業	-26.3	-12.0	-38.9	-12.6
サービス業	-17.5	-1.3	-29.4	-11.9
売上高	-28.7	-13.3	-32.0	-3.3
製造業	0.0	14.0	-39.6	-39.6
建設業	34.8	39.2	-15.4	-50.2
卸売業	-1.5	50.2	-53.8	-52.3
小売業	-64.8	-64.8	-41.2	23.6
サービス業	-95.2	-84.4	-20.5	74.7
仕入価格	-17.8	-3.9	-20.8	-3.0
製造業	-10.2	-4.2	-18.0	-7.8
建設業	-17.1	-3.7	-20.5	-3.4
卸売業	-14.8	9.3	-12.5	2.3
小売業	-26.3	-2.5	-31.6	-5.3
サービス業	-26.3	-14.9	-25.0	1.3
販売価格	-4.6	-2.3	-5.3	-0.7
製造業	0.0	10.0	-2.0	-2.0
建設業	-7.3	-5.1	-4.9	2.4
卸売業	-15.4	-8.2	-15.4	0.0
小売業	-10.5	-15.3	-16.7	-6.2
サービス業	2.6	-5.8	2.9	0.3
採算(収支)	-40.7	-13.1	-38.6	2.1
製造業	-44.9	-20.9	-45.8	-0.9
建設業	-42.9	-14.0	-31.0	11.9
卸売業	-51.9	12.4	-44.0	7.9
小売業	-33.3	-9.5	-44.4	-11.1
サービス業	-29.3	-23.9	-31.6	-2.3

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

【業界の景況】

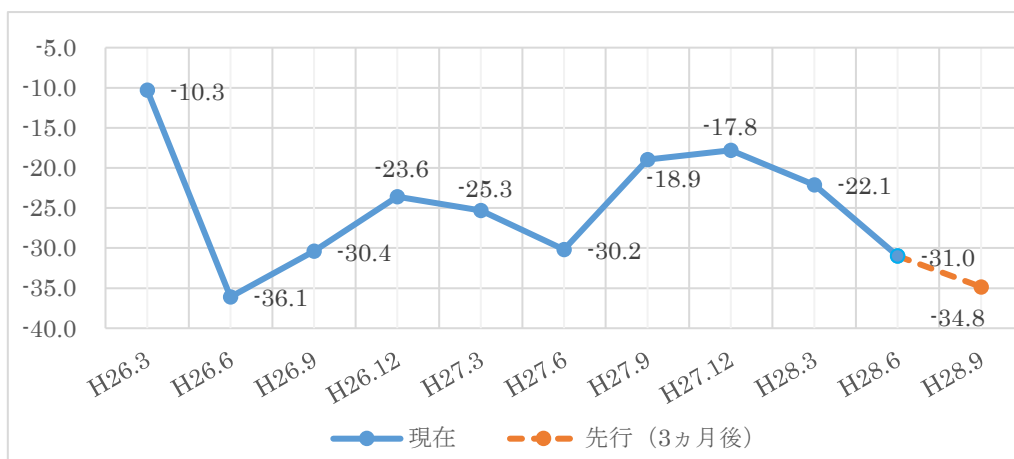
業界全体の現在 DI 値は▲49.2 を示し、前回調査 (H28.3 期) から 12.9 ポイント下回り、2 期連続の悪化となった。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲50.6 で、現状より若干の悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲44.0、建設業が▲52.4、卸売業が▲77.8、小売業が▲47.4、サービス業が▲34.1 となっている。前回調査と比較すると、卸・小売業以外の業界では悪化し、なかでも建設業は 30.2 ポイントの大きなマイナスとなった。



業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-49.2	-12.9	-50.6	-1.4
製造業	-44.0	-16.0	-54.2	-10.2
建設業	-52.4	-30.2	-35.9	16.5
卸売業	-77.8	1.5	-82.6	-4.8
小売業	-47.4	0.3	-53.3	-5.9
サービス業	-34.1	-9.8	-40.5	-6.4

【自社の景況】

自社の景況は、現在 DI 値▲31.0 となり、前回調査より 8.9 ポイント下落した。先行 DI 値は▲34.8 で、現在より 3.8 ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲33.3、建設業が▲27.5、卸売業が▲55.6、小売業が▲26.3、サービス業が▲17.5 を示した。先行 DI 値からは建設業以外の業界における大幅な下落が見込まれていることが分かる。



自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-31.0	-8.9	-34.8	-3.8
製造業	-33.3	-13.3	-45.5	-12.2
建設業	-27.5	-27.5	-12.8	14.7
卸売業	-55.6	16.9	-56.5	-0.9
小売業	-26.3	-12.0	-38.9	-12.6
サービス業	-17.5	-1.3	-29.4	-11.9

【売上(受注高)】

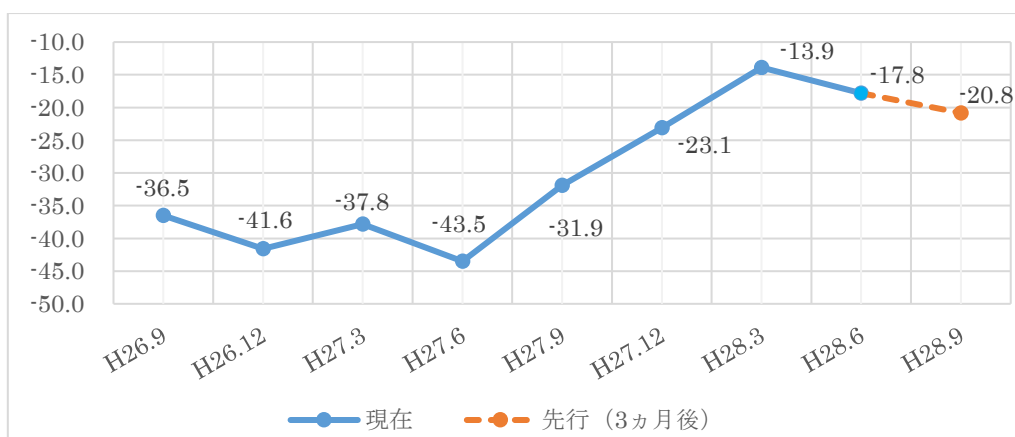
売上状況を表す現在 DI 値は▲28.7、前回調査から 13.3 ポイントの下落となった。3 ヶ月後の先行 DI 値は、▲32.0 と現在より 3.3 ポイントの落ち込みを予測している。業界別には、製造業が 0.0、建設業が 34.8、卸売業が▲1.5、小売業が▲64.8、サービス業が▲95.2 となった。前回調査と比較して、製造業が 14.0 ポイント増、卸売業が 50.2 ポイント増であった。今後 3 ヶ月後の見通しは、小売業・サービス業を除く全ての業種で悪くなる模様。



売上(受注高)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-28.7	-13.3	-32.0	-3.3
製造業	0.0	14.0	-39.6	-39.6
建設業	34.8	39.2	-15.4	-50.2
卸売業	-1.5	50.2	-53.8	-52.3
小売業	-64.8	-64.8	-41.2	23.6
サービス業	-95.2	-84.4	-20.5	74.7

【仕入価格】

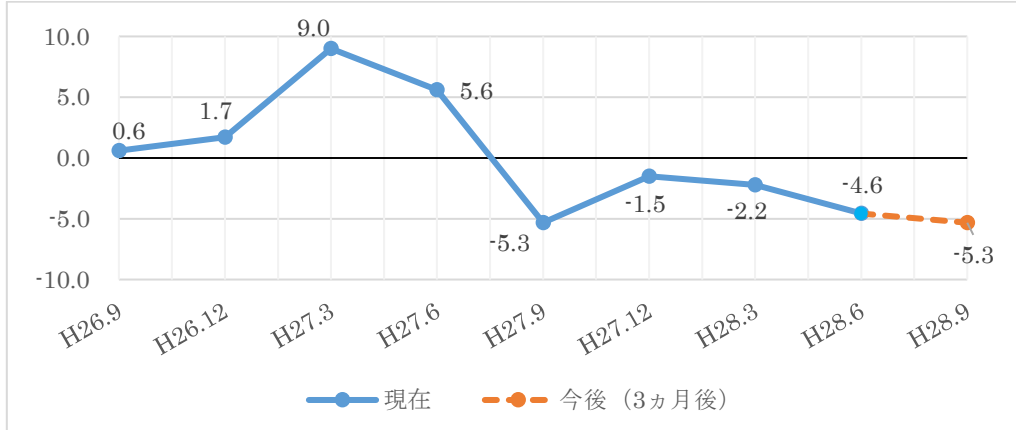
仕入価格の現在 DI 値は▲17.8 で、前回調査から 3.9 ポイントの下落となった。3 ヶ月後を表す先行 DI 値は▲20.8 と、現在と比べ 3.0 ポイント減を予測している。業種別では、製造業が▲10.2、建設業が▲17.1、卸売業が▲14.8、小売業が▲26.3、サービス業が▲26.3 となった。3 ヶ月後は卸売・サービス業以外の業種において低落する見通しである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-17.8	-3.9	-20.8	-3.0
製造業	-10.2	-4.2	-18.0	-7.8
建設業	-17.1	-3.7	-20.5	-3.4
卸売業	-14.8	9.3	-12.5	2.3
小売業	-26.3	-2.5	-31.6	-5.3
サービス業	-26.3	-14.9	-25.0	1.3

【販売価格】

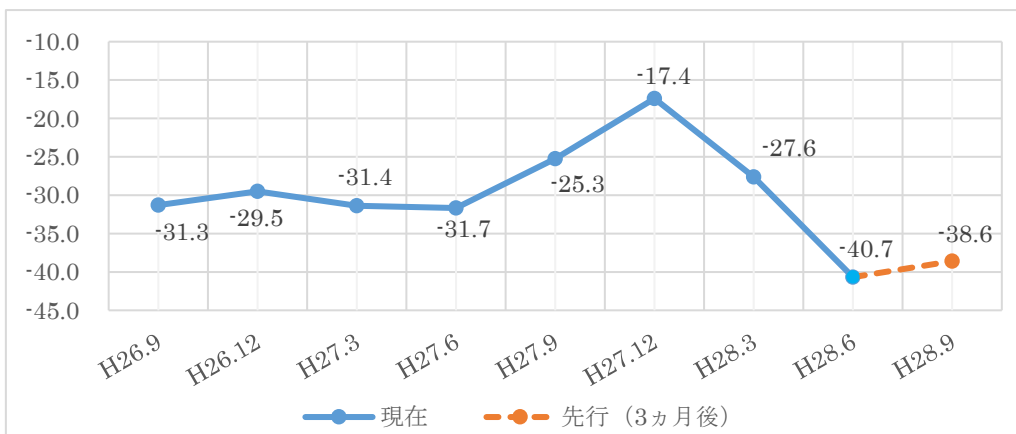
販売価格（受注単価）の現在 DI 値は▲4.6 となり、前回調査から 2.3 ポイントの下落であった。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲5.3 で現在と比べ 0.7 ポイント減。業種別では、製造業が 0.0、建設業が▲7.3、卸売業が▲15.4、小売業が▲10.5、サービス業が 2.6 となった。業種別の先行 DI 値については、建設業・サービス業でプラスを見込んでいる。



販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-4.6	-2.3	-5.3	-0.7
製造業	0.0	10.0	-2.0	-2.0
建設業	-7.3	-5.1	-4.9	2.4
卸売業	-15.4	-8.2	-15.4	0.0
小売業	-10.5	-15.3	-16.7	-6.2
サービス業	2.6	-5.8	2.9	0.3

【採算(収支)】

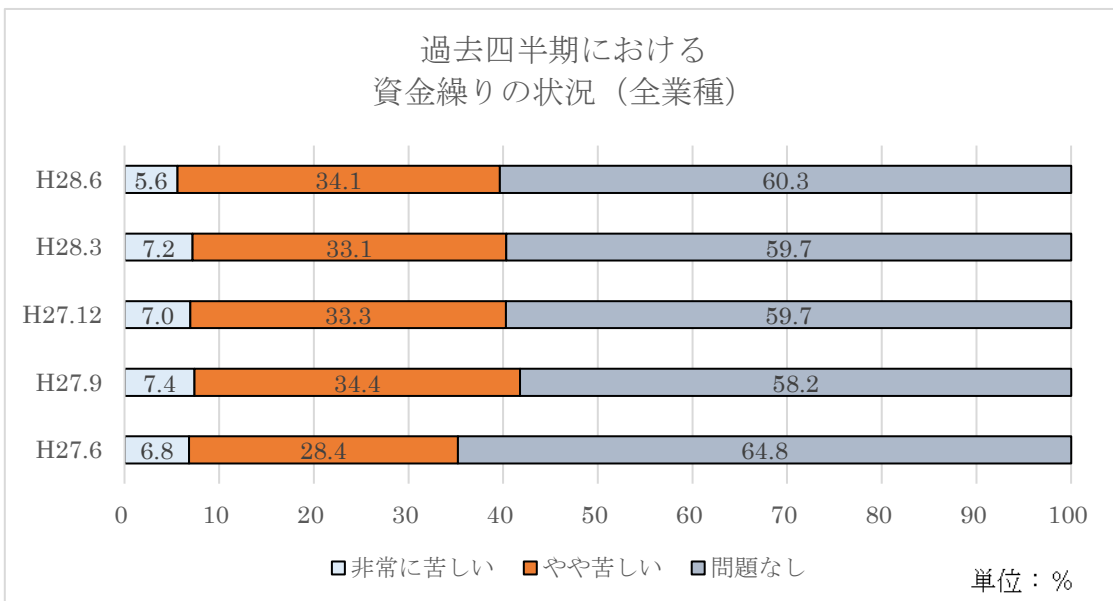
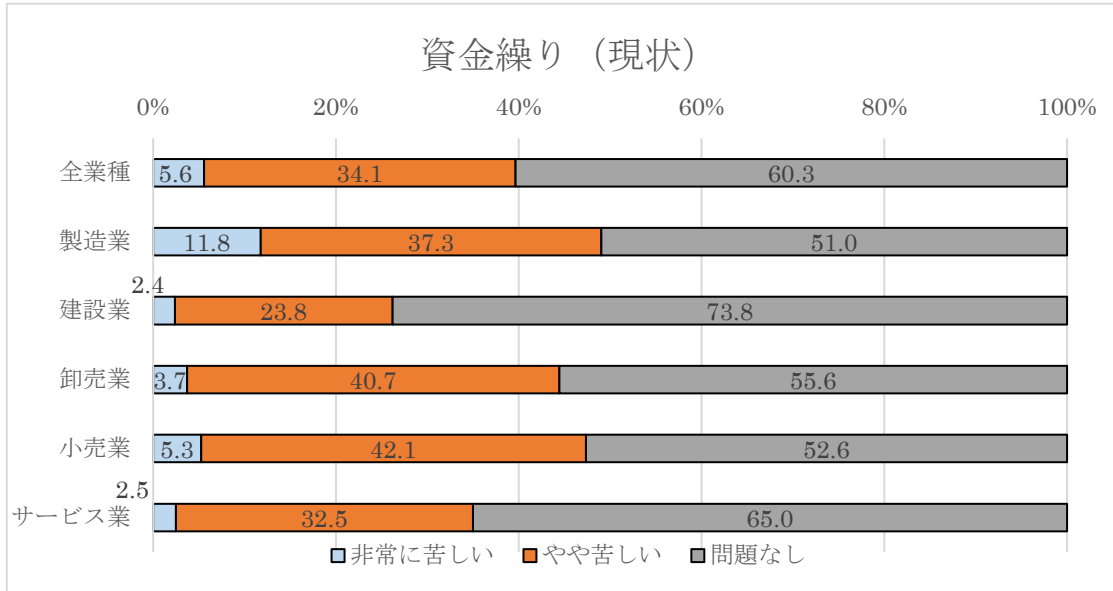
採算状況を表す現在 DI 値は▲40.7 と、前回調査から 13.1 ポイント減、2 期連続の悪化となった。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲38.6 で、現在と比べ 2.1 ポイントの回復を見込んでいる。業種別では、製造業が▲44.9、建設業が▲42.9、卸売業が▲51.9、小売業が▲33.3、サービス業が▲29.3 となった。3 ヶ月後の見通しは、製造業・小売業・サービス業で悪化する見込。



採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-40.7	-13.1	-38.6	2.1
製造業	-44.9	-20.9	-45.8	-0.9
建設業	-42.9	-14.0	-31.0	11.9
卸売業	-51.9	12.4	-44.0	7.9
小売業	-33.3	-9.5	-44.4	-11.1
サービス業	-29.3	-23.9	-31.6	-2.3

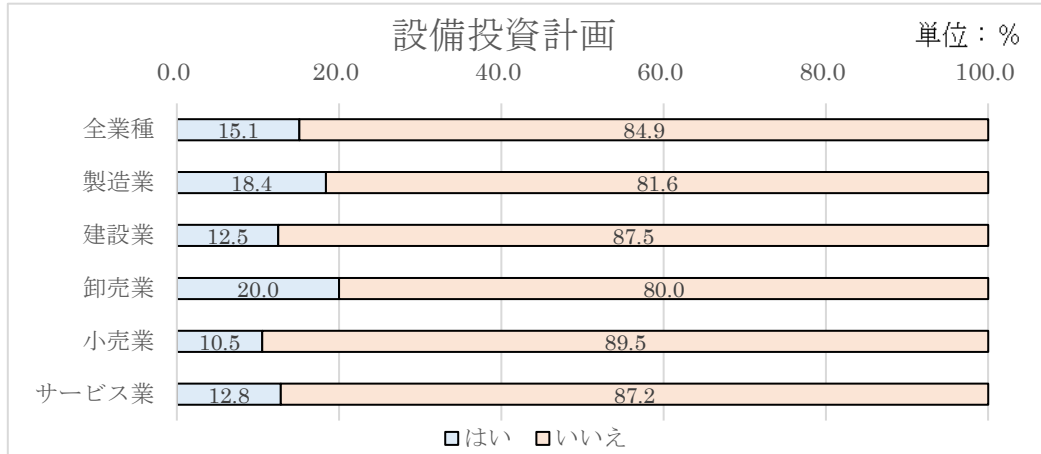
【資金繰り】

資金繰りの状況は、業種全体の約6割が「問題なし」と回答し、過去四半期の状況と比較すると「問題なし」の割合が若干増えている。業種別では、製造業や卸・小売業が全体より資金繰りが厳しいことが分かる。一方で、建設業・サービス業においては6割以上が「問題なし」と答えている。



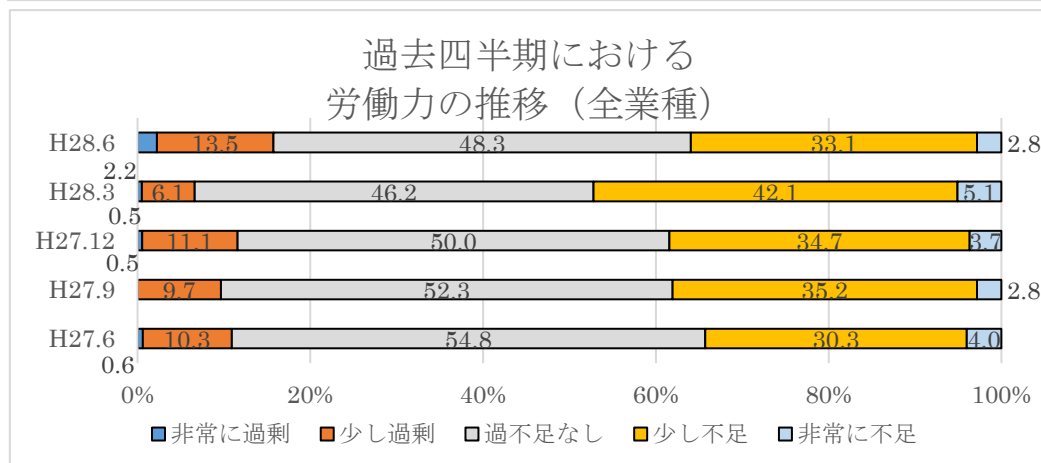
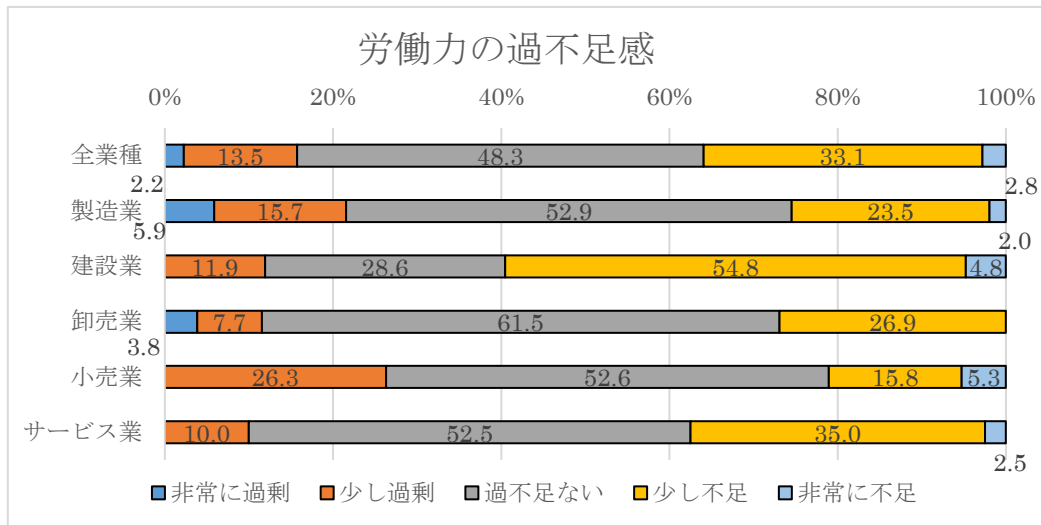
【設備投資】

今後3ヶ月以内の設備投資計画では15.1%が「ある」と回答している。業種別では製造業が18.4%、卸売業が20.0%で全体より高い。



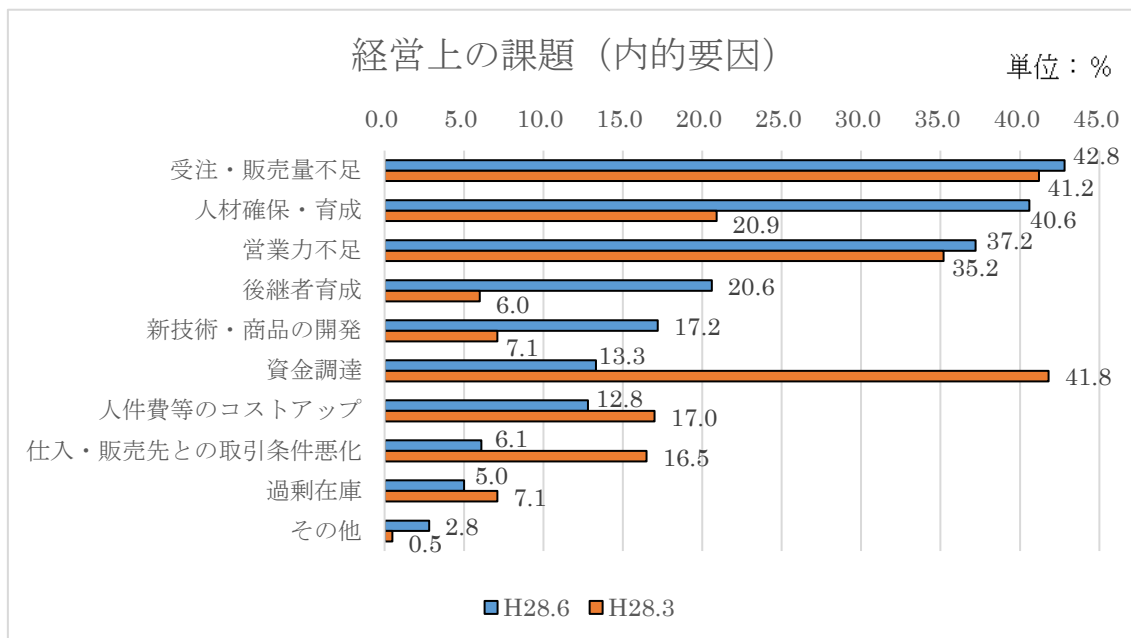
【労働力】

労働力の過不足感については、半数近くの48.3%の事業所が「過不足ない」と答えた。業種別では、建設業・サービス業が、「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答する割合が高く、業種によってばらつきが見られる。



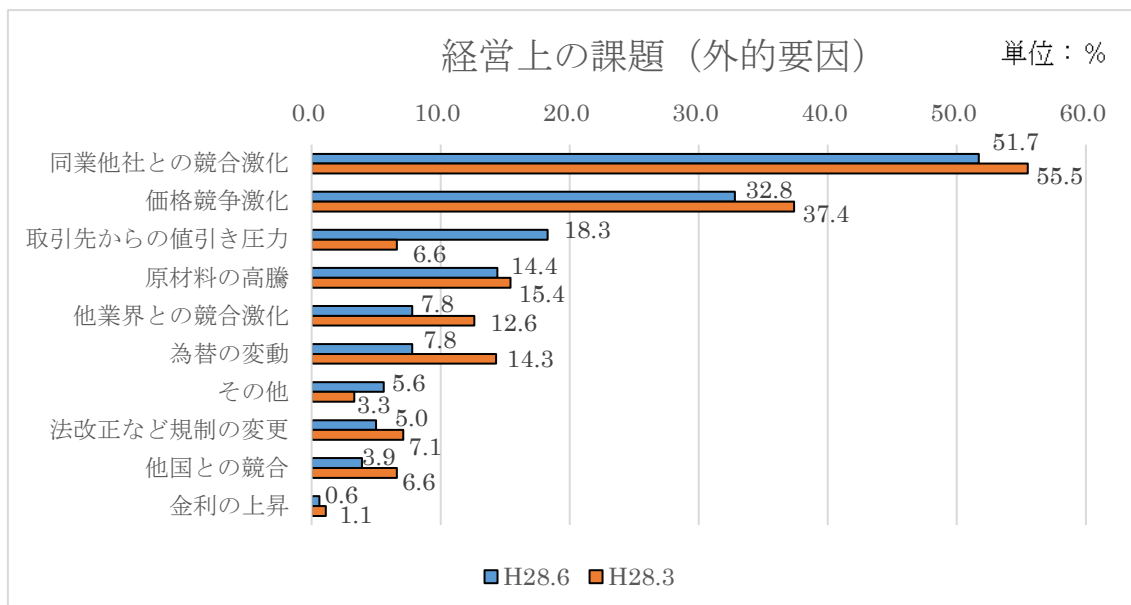
【経営課題(内的)】

経営上の課題（内的要因）については、「人材確保」を課題にしている事業所が前回調査から大きく伸びて40.6%となった。また、「新技術・商品の開発」・「後継者育成」を、経営上の課題としていた事業所が大幅に増えた。一方で、前回調査時に最も課題にされていた「資金調達」は、28.5%減少して13.3%となった



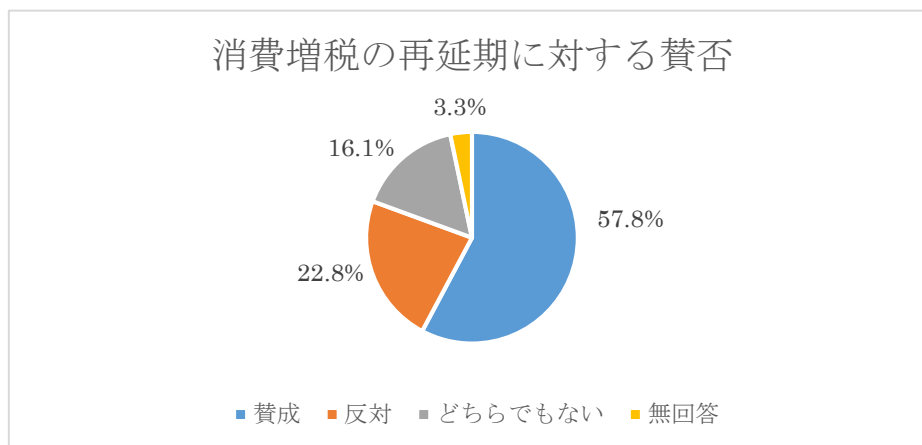
【経営課題(外的)】

経営上の課題（外的要因）として、最も挙げられたのが「同業他社との競争激化」であった。前回調査から比べれば、「取引先からの値引き圧力」の11.7ポイント増が目立つ。一方で、「価格競争激化」の4.6ポイント減、「他業界との競合激化」が4.8ポイント、「為替の変動」が6.5ポイント減少している。



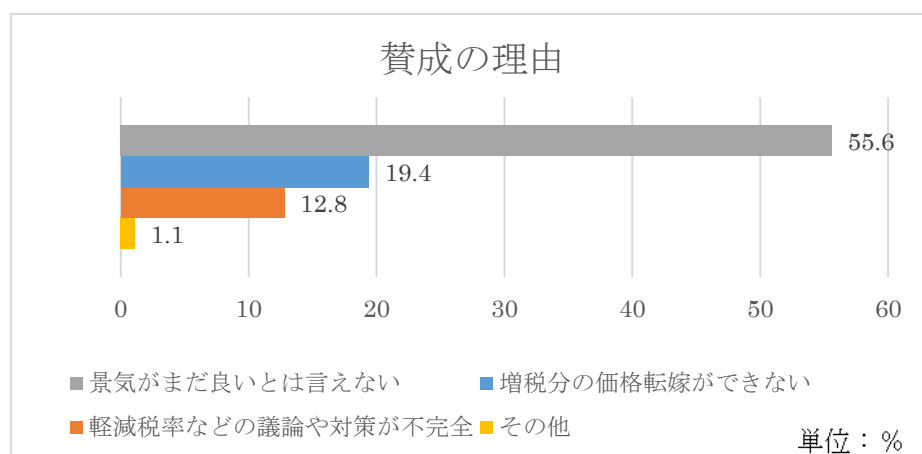
【消費増税の再延期について】
《消費増税の再延期に対する賛否》

消費増税の再延期に対して、「賛成」が57.8%、「反対」が22.8%であった。

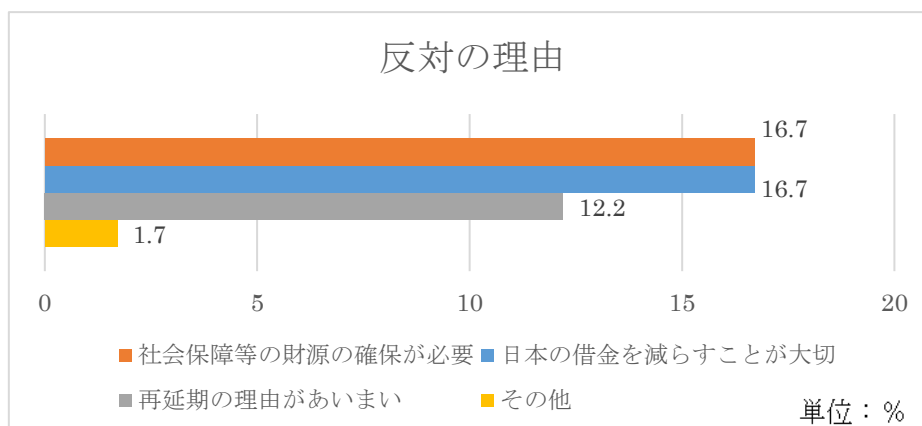


《賛成・反対の理由》

消費増税の再延期に対する賛成の理由として、「景気がまだ良いとは言えない」が55.6%と最も多く、「増税分の価格転嫁ができない」が19.4%、「軽減税率などの議論や対策が不完全」が12.8%という結果になった。



対して、反対の理由としては、「社会保障等の財源の確保が必要」と「日本の借金を減らすことが大切」が16.7%、「再延期の理由があいまい」が12.2%となった。



《消費増税再延期の影響》

消費増税再延期の影響については、「特になし」が35.6%、「増税前の駆け込み需要がなくなる」が28.3%、「軽減税率の対応に余裕ができる」が15%、「増税を見越した経営計画への変更」が10.6%という結果になった。

